

「学生」×「地域」カフェ

## 「地域を生かした環境教育への協力」

三重県戦略企画部企画課

### 1 地域を生かした環境教育について

大杉谷自然学校が主催する小学生を対象にした自然体験活動（キャンプ等）において、キャンプリーダーとして協力するため、県内高等教育機関に在籍する学生と県が参加しました。

今回は、大杉谷自然学校の受託事業である森永製菓株式会社主催の「伊賀・エンゼルの森自然塾」の取組に協力するため、県内高等教育機関に在籍する学生が参加しました。

※「伊賀・エンゼルの森自然塾」とは

森永製菓は、生物多様性の保全と持続可能な社会を目指す新しい取り組みとして、自社保有地である伊賀上野の貴重な里山を活用し、里山を守り育て、里山文化を次の世代に引き継ぐ「伊賀エンゼル自然塾」を実施しています。里山“エンゼルの森”を舞台に、自然体験をはじめ歴史・生活文化体験など、子どもたちに自然とともに生きる知恵や環境を守ることの大切さを伝えることをめざしています。

### 2 取組概要

8月18日から20日までの2泊3日（名古屋集合組）に学生1名が参加するとともに、8月22日から24日までの2泊3日（大阪集合組）に学生2名が参加しました。

#### ■概要

##### ○ 木エクラフトの補助

- ・5班に分かれて、班活動を行い、班のリーダーとして学生が協力しました。
- ・子ども達が、前日の間伐体験で切った枝木を用いて写真立てを作る際に補助しました。





## ○ 昼食準備、昼食

- ・子ども達が、班ごとに薪で火おこしをする際に補助しました。
- ・ツイストパンづくりや、フルーツポンチなど昼食の配膳のお手伝いを行いました。







## ○ ふりかえり

・子ども達が、班ごとに「今回の活動のふりかえり」について話し合う際に、進行役

として関わりました。また、各自から参加した感想について発表を行いました。

### <学生の感想>

- ・いろいろな方と仲良くなれる機会をもてて良かった。
- ・班のメンバーが、全員で協力することの喜びを感じることができた。
- ・自然体験活動を通じて、森林の大切さをあらためて再認識することができた。

